

平成 24 年度 第 163 回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成 24 年 5 月 22 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 35
場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、岡本副学長、梶原副学長、木原副学長、井村事務局長、伊藤外国語学部長、吉田経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、龍国際環境工学部長、横山社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、田部井学生部長、田村大教務部長、古賀都市政策研究所長、漆原基盤教育センター長、柳井入試広報センター長、隈本情報総合センター長、廣渡評価室副室長

- 配布資料**
- 1-1 教育職員の休職について
 - 1-2 退職願及び欠員補充申請書 (基盤教育センター)
 - 1-3 退職願及び欠員補充申請書 (国際環境工学部)
 - 1-4 欠員補充申請書 (社会システム研究科)
 - 2 特任研究員の選考について
 - 3 外国語学研究科の廃止の届出について
 - 4 北方・ひびきのキャンパス連携 (教育及び学生支援) の推進について (報告)
 - 5 環境 ESD プログラムの開設について (案)
 - 6 2010 年度入学生 (北方キャンパス) に対する早期支援システム実施報告
 - 7 平成 24 年度に実施する入学スケジュール
 - 8 平成 24 年度入試広報計画
 - 9 副専攻運営所員 (Global Education Program) の選考について
 - 10 平成 24 年度 学部・学科・学年別学生数

第 1 号 教員の人事について

* 資料1-1のとおり、教員の休職について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

* 資料1-2のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、内田若希准教授の平成24年9月30日付けでの退職及び後任として、障がい者スポーツ担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-3(pp. 1-2)のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成25年3月31日付けで定年退職する松本紘美教授の後任として、機械工学・材料力学担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-3 (pp. 3-5) のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、ゴドレーン・イヴァン教授の平成25年3月31日付けでの退職及び後任として、情報通信工学・電気電子工学担当教員1名の欠員補充について提案。

- ゴドレーン・イヴァン教授の担当分野は「計測制御工学」であるが、学部及び大学院における学問分野を考慮し、欠員補充にあたっては担当分野を実験計測を要する「情報通信工学・電気電子工学」に変更して行うこととしたい。なお、現在ゴドレーン・イヴァン教授が大学院で指導している学生に対しては、担当教員が変更することを説明している。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

＊ 資料1-4(pp. 1-2)のとおり、社会システム研究科からの申請に基づき、平成25年3月31日付けで定年退職する吉村弘教授の後任として、地域福祉政策・自治体政策担当教員1名の欠員補充について提案。

- 吉村弘教授は、社会システム研究科博士後期課程の専任教員であるとともにマネジメント研究科の専任教員である。欠員補充については、マネジメント研究科と調整をしながら行いたい。
- 吉村弘教授は、専門職大学院設置基準に基づく平成25年度までの暫定措置による専任教員でもある。今後の暫定措置への対応の方向性は未定であるが、マネジメント研究科としては引き続き後任者に協力してもらいたいと考えている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

第2号 特任教員の選考について

＊ 資料2のとおり、国際環境工学部の特任研究員1名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 外国語学研究科の廃止について

＊ 資料3のとおり、平成20年度に学生募集を停止した外国語学研究科の廃止について提案。

- 外国語学研究科中国言語文化専攻に在籍していた学生が平成24年3月をもっていなくなったため、教育研究審議会及び経営審議会に諮った後、文部科学省に廃止の届出を行う。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 北方・ひびきの連携プロジェクト会議の報告について

＊ 資料4のとおり、北方・ひびきの連携プロジェクト会議から、キャンパス間交流事業について提案。

- 中期計画「北方・ひびきのキャンパス間の連携促進」を達成するため、平成25年度から実施する交流事業の内容を提案するものである。
- 指定科目以外の北方の基盤教育科目を国際環境工学部の学生が受講する場合について、他学部他学科受講の手続きを行うとしているが、木曜日の2～5限に開講している科目に限定するのか。
- 従来どおり変更はない。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第5号 環境ESDプログラムの開設について

＊ 資料5のとおり、環境ESDプログラムの開設について提案。

- 中期計画「北方キャンパスにおける環境人材の養成」を達成するため、「環境ESDプログラム」を副専攻として平成25年度に開設、平成26年度から履修開始することを提案する。
- 申請要件としてGPAを出しているが、1年次の成績は3月の初旬に確定する。一方で、1年次末申請、2年次から履修開始の流れとなっているが、運営上問題はないか。
- 履修開始までの手続きが円滑にできるよう準備する。
- 所属する学科等の専門教育科目と重複する専門科目については、プログラム修了要件単位数に算入できるのは6単位までとしている。また、卒業要件単位への算入については各学科等の判断によるとしている。方向性はよいが、単位数の設定等については少し自由度を持たせてもらいたい。
- 今後の調整の中で設定していくこととしたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 平成 23 年度早期支援システム実施状況報告について、資料 6 のとおり報告があった。
- ② 平成 25 年度入試の実施日程及び平成 25・26 年度入試の主な変更点について、資料 7 のとおり報告があった。
- ③ 平成 24 年度入試広報計画について、資料 8 のとおり報告があった。
- ④ 副専攻運営所員 (Global Education Program) の選考結果について、資料 9 のとおり報告があった。
- ⑤ 平成 24 年度学生数について、資料 10 のとおり報告があった。
- ⑥ 次回の審議会を 6 月 12 日 (火) に開催する予定である旨、報告があった。